第　２　章

子どもと子育てを取り巻く環境

第２章　子どもと子育てを取り巻く現状

１　人口動態

(1) 人口推移

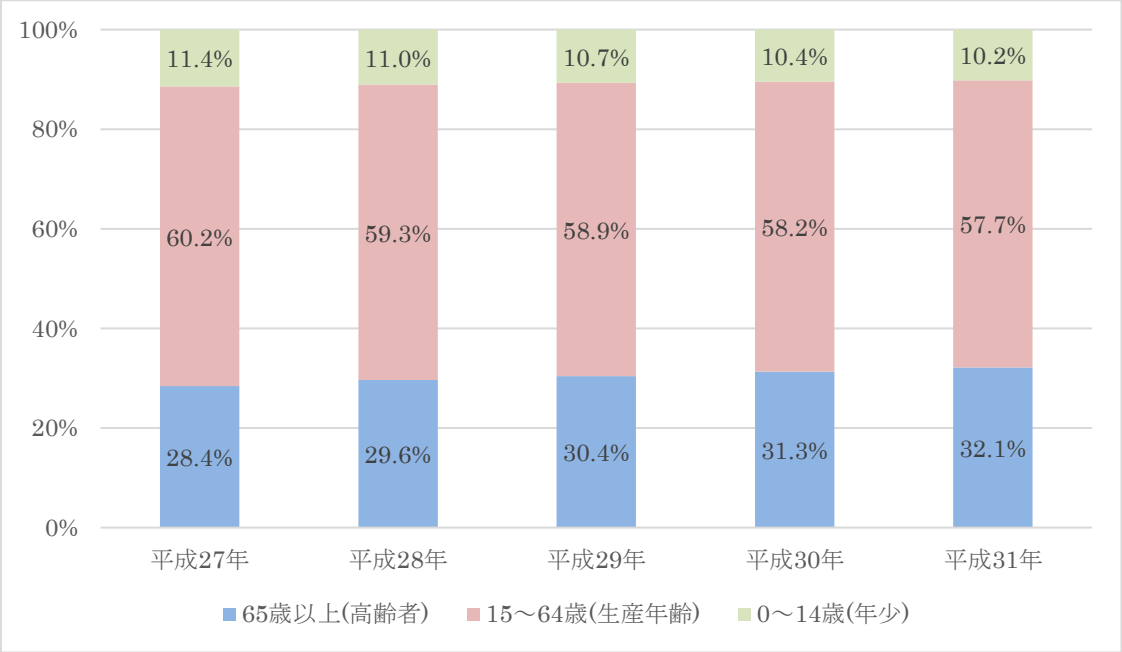
黒石市の人口は、減少傾向で推移し、平成31年3月31日現在では33,284人となっています。

年齢別人口構成では、65歳以上の人口比率が増加傾向にあります。

平成27年からの5年間で、15歳未満の人口比率は1.2%の減、65歳以上の人口比率3.7%の増で、年々少子高齢化が進んでいる状況です。

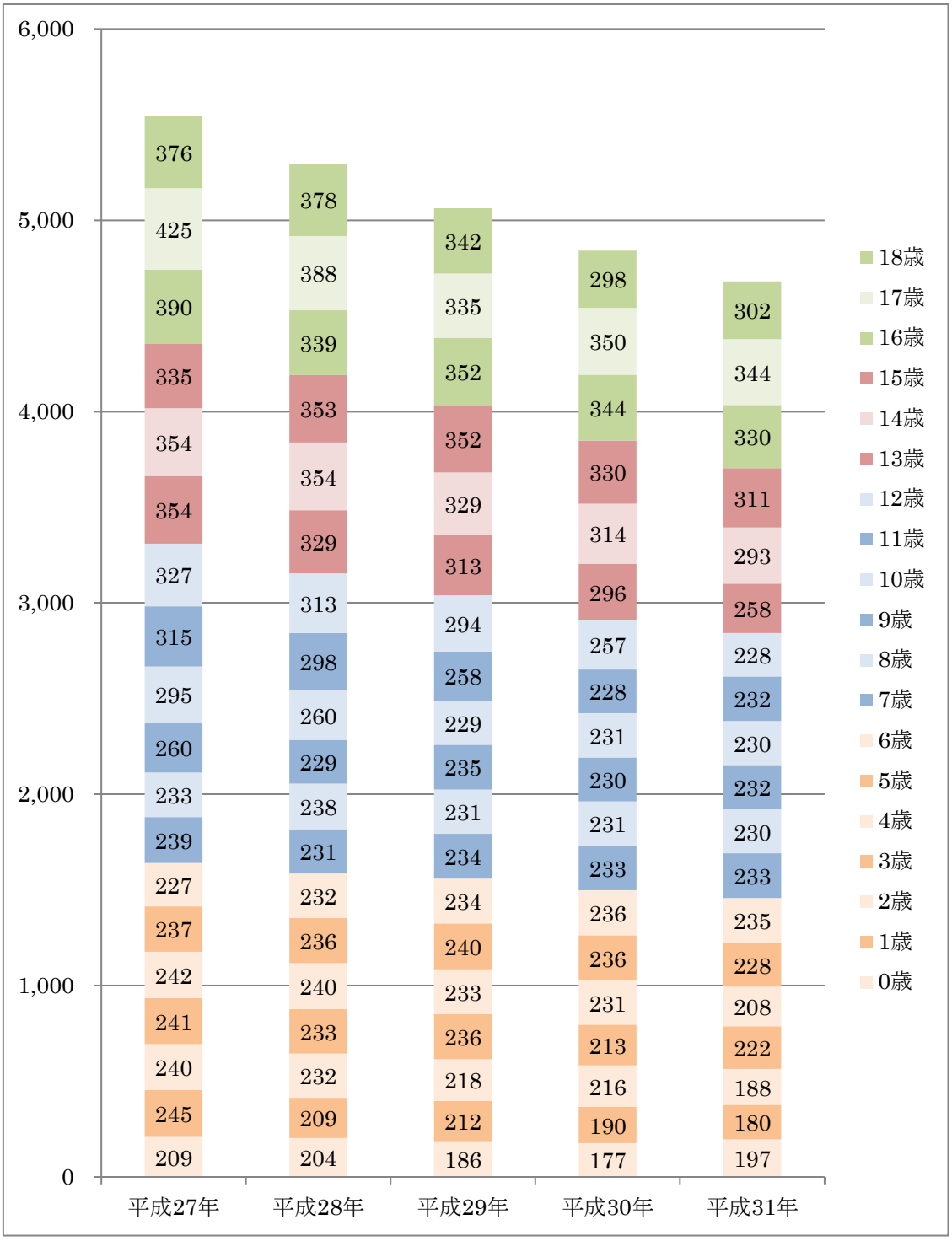
（単位　人）

年齢3区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
65歳以上(高齢者)	10,027	10,295	10,444	10,590	10,691
15～64歳(生産年齢)	21,240	20,633	20,215	19,680	19,199
0～14歳(年少)	4,018	3,838	3,682	3,519	3,394
計	35,285	34,766	34,341	33,789	33,284



(2) 児童人口

18歳までの児童人口をみると、全体の人口と同様に減少傾向で推移しています。平成27年3月31日現在で5,544人であった児童数が、平成31年3月31日現在では4,681人となり、863人の減少となっています。

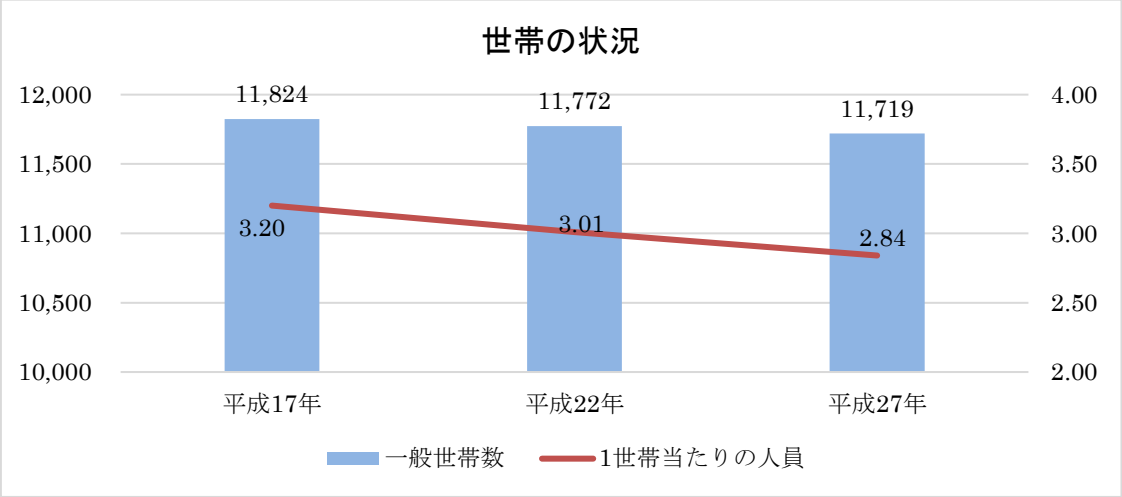


(3) 世帯

平成17年から平成27年の世帯数は、10年間で105世帯減少し、11,719世帯となっています。

また、1世帯当たりの人員も減少傾向で推移し、平成27年では2.84人となっています。

児童のいる世帯でみると、6歳未満親族のいる世帯及び18歳未満親族のいる世帯ともに減少傾向で推移しています。



〈資料　国勢調査〉

6歳未満親族のいる世帯　（単位　人）

	平成17年	平成22年	平成27年
世帯数	1,504	1,108	1,044
世帯人員	7,623	5,651	5,181
6歳未満の親族人員	1,948	1,393	1,362

〈資料　国勢調査〉

18歳未満親族のいる世帯　（単位　人）

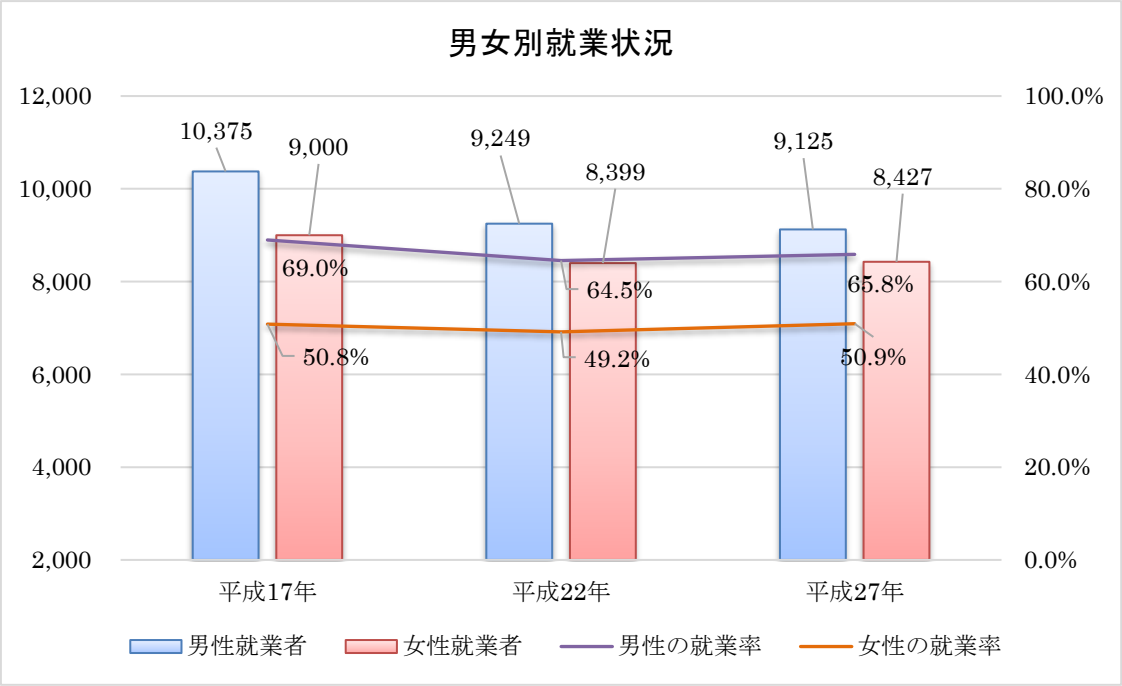
	平成17年	平成22年	平成27年
世帯数	3,998	3,388	2,917
世帯人員	19,180	16,020	13,524
6歳未満の親族人員	6,996	5,836	4,980

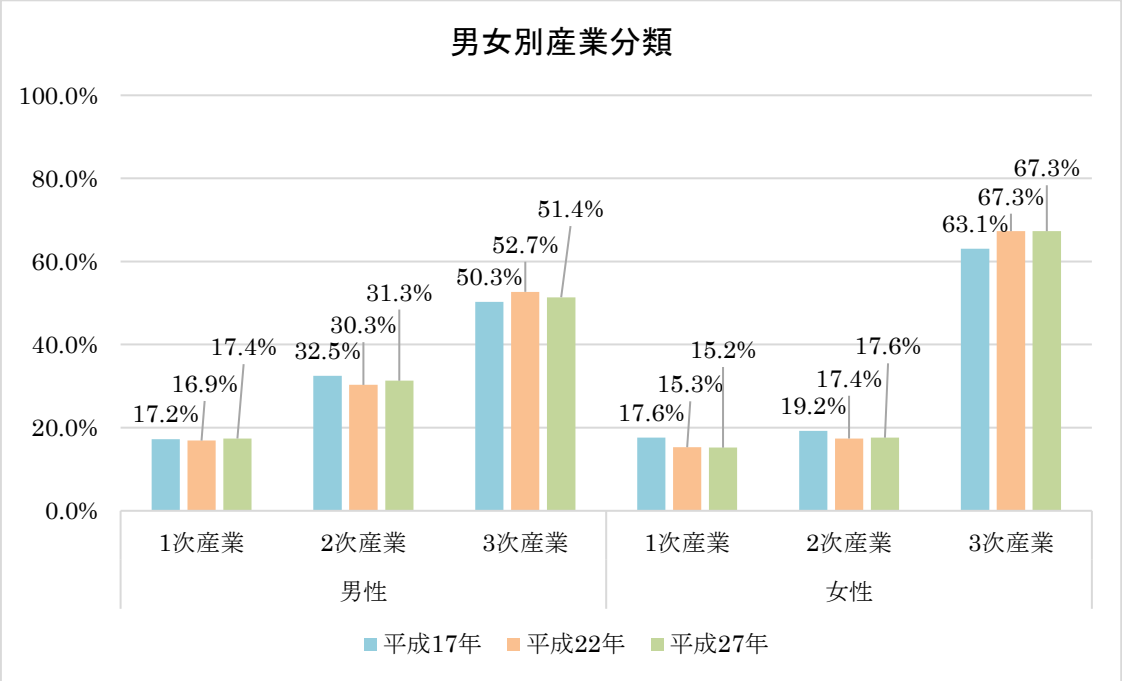
〈資料　国勢調査〉

(4) 就業状況

平成27年の男女別就業状況は、減少傾向で推移した平成22年から転じて男女とも増加を示し、男性65.8%、女性50.9%となっています。

男女別産業分類は、男女ともに3次産業の従事者が多く、特に平成27年の女性は、平成22年に引き続き全体の7割弱となっています。





2　人口推計

(1) 人口推計

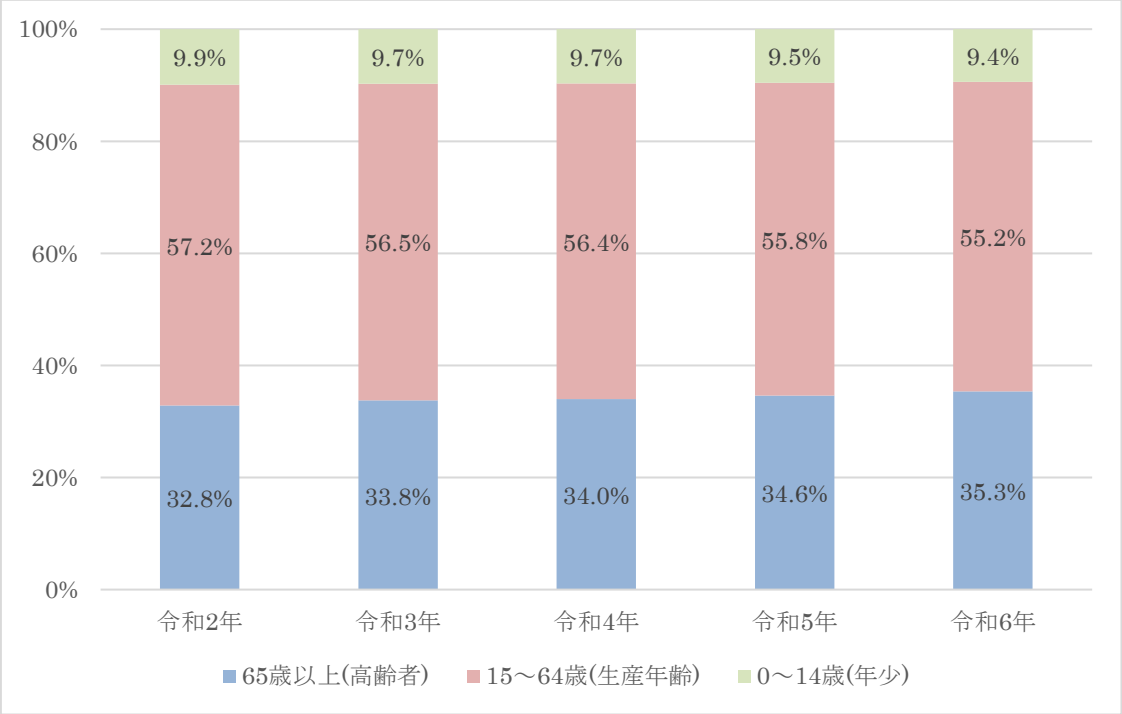
平成27年から令和元年の住民基本台帳を基に、将来人口をコーホート変化率法により推計すると、減少傾向で推移し、令和6年の総人口は30,416人と予測されます。

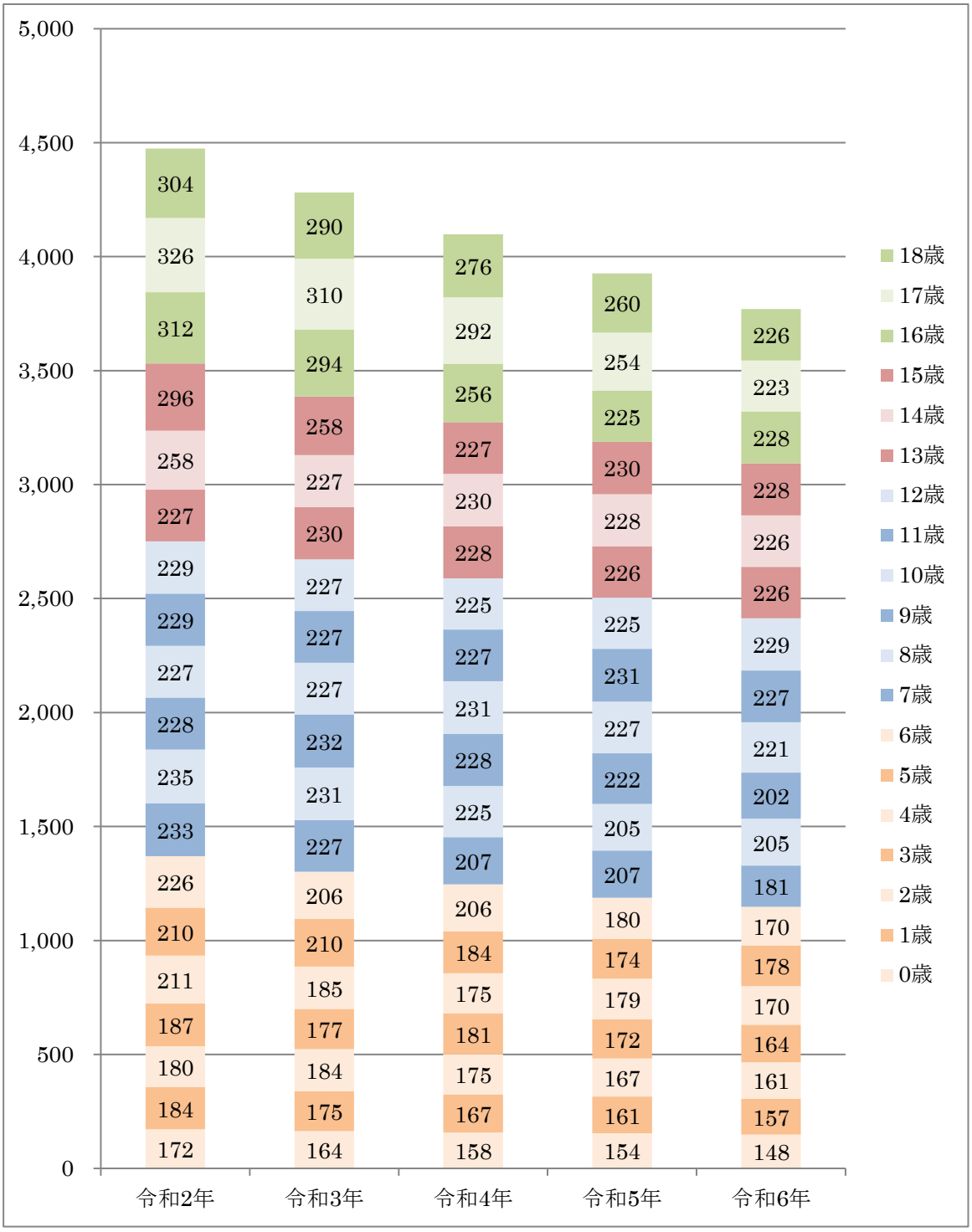
年齢別人口構成では、64歳以下の年少人口及び生産年齢人口の比率が減少傾向であるのに対し、65歳以上の高齢者人口の比率が増加傾向にあります。

人口比率を令和2年からの5年間で見ると、15歳未満が0.5%の減、15歳から64歳以下が2.0%の減、65歳以上が2.5%の増で、少子高齢化は今後ますます進んでいくものと予測されます。

（単位　人）

年齢3区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
65歳以上(高齢者)	10,725	10,878	10,719	10,733	10,749
15～64歳(生産年齢)	18,693	18,211	17,785	17,301	16,802
0～14歳(年少)	3,236	3,129	3,047	2,958	2,865
計	32,654	32,218	31,551	30,992	30,416



(2) 児童人口の推計

18歳までの児童人口をみると、全体の人口と同様に減少傾向で推移しています。令和2年に4,474人であった児童数が令和6年には3,770人となり、704人の減少となっています。